

第 31 回 新木地区「地域会議」議事録

- 開催日時： 令和 8 年 2 月 22 日(日) 10:00～12:00
- 開催場所： 新木近隣センター 多目的ホール
- 出席者： (紙面の都合により割愛)
- 議題： 安全・安心・住みよいまちづくりに向けて
 - 第 1 部：自宅火災及び空き家火災における考え方
 - 第 2 部：はっと、ひやりフリー討議

■開会挨拶

＜地域会議事務局：事務局長＞

- 事が起きる環境を想定しての準備する意識の向上、知らないよりは知っている事が大切（興味を持つ）
自分の事として繰り返し（予習・復習）実行を常日頃から災害に合わない環境づくりをお互い話し合い進めていきたい。

■来賓挨拶

＜我孫子市：市民協働推進課＞

- 火災にたいする共通認識を勉強させていただきます。今後も地域のつながりを大切にしていきたい

■〇〇氏の紹介

※我孫子市新木野在住 元東京消防庁職員

■議事：

1. 物が燃えるとは

- 物（木材・紙など）、空気（酸素）、熱、の 3 大要素で燃える。
要素を 1 つ取る事で火は消える。 消化器は、空気の遮断で消える。
火事の赤い火は、700℃程度 眩しい火は、1500℃程度と理解してください。
天ぷら油は、料理時 200℃くらいだが、油が燃える時 300℃程度に放置すると燃える。
- 初期消火は、火が天井に着く前までに行える。天井に着いたら消化できないので逃げる。
- a b c 消化器の。a は普通火災、b は油火災、c は電気火災を表す。
a b c 消化器は、一瞬で消えるが、熱は取れていない為数分でまた燃える事がある。
消化器訓練は、水の為何度もできるが、実物は 15 秒間ですべての粉が出るため、安全ピンを抜いてすぐ握りを持つ人がいる。現場で火に届かず手前に粉が散布している事が多い。
握りを持たずに火に近づいてから、握ることが重要です。（慣れの行動）
- 消化器に入っている粉は、「リン酸水素アンモニウム」の黄色い粉です。
目くらしや証拠隠しの犯罪に使用されている事が多い。

2. 119番の通報

- 通報は、広域指令体制が取られ。千葉消防指令センターへつながる。
我孫子、柏、松戸、流山、鎌ヶ谷、市川、八千代、流山など10市が運営に当たっている
正式名称：千葉北西部消防指令センター、（松戸中央消防署内）
- 火事です。何が燃えていますか、番地など詳しく状況を知るために聞いてくる。（落ち着いて応答）
- 火災入電中に、我孫子（地域）の消防署に同時に事前連絡が入っている。（火災入電中が明示）
- 消防の先着隊は、西消防署から通常ポンプ車2台、救急車1台で出動する。
1台のポンプ車に積載水1～1.5トン入っているので、小規模ではそれで消える事が多い。
いち早く通報が肝心である。
初期消火は必要だが、より通報が大事となる。すぐ電話をかける事を推薦する。
水が足りない時に、消火栓から水を取り中継する様になる。
- 次に第1出場は、湖北台出張所、東消防所、応援協定の利根町からくる。
さらに、第2出場は、近隣の消防署からくる。大きな火災は第3出場は松戸からくる。

3. 乾燥注意報

- 火災警報がなくなり、異常乾燥注意報となった。（火災警報が誤解され放火犯が出る経緯があった）
山林火災注意報は今でも出ている。

4. 住宅火災警報器

- 東京は83%で、各戸に設置している。平成19年に通知している。我孫子は不明。
是非、設置して欲しい。

5. 空き家の火災対策

- 10件に1件程度で増えている。空き家の火災は放火が出火の原因である。（難しい問題）

■ 質疑応答

1. 携帯で119番、110番は局番無しで良いか。

☞ 局番無しで良い。（3桁）

救急で、消防車がついてくるのは、2階から要救助者を担架で下ろすとか人数が必要な時についてくる。

2. 携帯での119番は、地域の消防署か携帯の受信中継局の消防署に掛かるのか、？

☞ 今は改善されて問題は無い。

3. 住宅火災報知器本体は、交換しなくて良いか？

☞ 電池交換していれば問題は無い

■ 議事

1. はっと、ひやりの発言について

- 仏壇の線香は、立てないで半分に折って火をつけて置いている。（倒れない工夫）。

- 隣人に外人が住んでいて、草が伸びていて火災防止のため草刈りを依頼し実施してもらった。
（依頼は、トラブルの原因になる場合があるので、市に依頼するのが良い）
- 電気コードがコンセントにつけばなしであるので、たまに抜いて掃除して置くのが良い。
- 夜寝る時に、コンセントは抜く様にしている。
- 自治会で防犯パトロールを実施し、空き地や公園の草などは東消防署に、危ない事を通知している。
- 吸殻を道に捨てている事が気になっている。（ルールを守って欲しい）
- 近隣とのコミュニケーションをとっている。
- 外人が引っ越して、庭が草で茂っているので火災が心配。
- 実際の火災の経験からの、組織や行動のまとめを期待したい。
- 住宅火災報知機をつけようと考えている。
- 卵焼きは自分で調理するが、今どきのコンロで火が小さくなってそのままにしてハットした。
- コンロを火にかけたまま、話をしていたら中華鍋から煙が出て行った。
- コンロの近くにティッシュを置いていたら、火が燃えてヒヤッとした。
- 住宅火災報知器は、電池交換がめんどうなので 10 年ほどで買い換えた方が良いと感じている。
- 電気コードの上を歩くなどで、コンセント抜けが発生するので注意が必要です。
- 電気コードを丸めておくと熱を持つので、コードは伸ばして使用する。
- 火災保険の利用方法が判らない人がまだいると感じた。
- り災証明書等火事が起きたら、何をしなくてはならないかの資料が便利で、自治会等で利用したい。
- 隣家で消防車と救急車が来た、奈良県の家族が心配して奈良県の消防署に千葉健で見守りをして欲しいとの事で、来ることが出来る事がわかった。
- 近くの火災と、知り合いが倒れて救急車を呼んだなど、直近で 2 つも経験をした。
- 救急の電話で、番地は何番何号まで聞かれた。
- 家庭菜園で草など燃やしたいので、農家は燃やしているので構わないと思うが良いか？
- ガスを使用したら、元栓のロックをする事を習慣づけしている。
- 寝る前に見回っていて、自分から火を出さない様にしている。
- 近所の空き家や空き地を防犯かねて、掃除している。市に連絡するれば市がやってくれると聞いたが、市に連絡すればすぐやってくれるのか？
- 最近、道路にタバコの吸い殻が落ちていて、気になっている。
- 消防車が来て消火栓を探していたので驚いた、近くの消火栓の場所を調べようと思っている。
- 延長コードから火が出て驚いた。原因はわからないが新しいものを買って交換した。
- 今日の防災の件は、今後検討したい。
- 空き家があり、泥棒に入った。持ち主が選定など行っている。
- 空き家で泥棒が入らない所がある。夜に玄関の電気がつく様になっていて泥棒が入りにくいと思う。
- 消防車が、積載水をもってくと聞いて少し安心した。
- あらき園では、スプリンクラーが作動すると消防に自動通報去れるて、関係者に火災が通知される。職員は初期消火にとられるよりは、自動通知を押してから避難する事を重点に置きたい。
- 近所で消防車が来たら、とりあえず見に行く事をいわれているので、大変と思う。
- 待機電力を最近利用した家電があるので、コンセントを抜く事が出来ない。

- 電源コードを抜く時は、コードを引っ張らないで本体を持って抜くことが良い。
- 消火栓は、自分の近くは調査してデータを集めている。
- アメリカの 9.11 の時、飛行機が突っ込んだ上の階に友人がいて、階段で降りる訓練をしていたので全員が助かったとの事から、日ごろの避難訓練が大事と感じる。
- 子供の二段ベッドでコンセントが見えなかった、ある時焦げ臭く見たらコンセントが焦げていた、見えるようにしなくてはいけないと感じた。コンセントの周りに物を置かないと認識が大事。
- 防犯で、一戸一灯で明るくすることが防犯で有効になると感じるので協力は大事。
- 空き地にタバコが捨ててあった（口紅つき）、ポス捨て禁止のプレートを市で持っていれば支給して欲しい。
☞ 持ち帰って聞いてみます。（市）
- 先週ボランティアでスリランカの方に日本語を教えた、内容は 119 番 110 番のかけたかであった。
- 成田線沿いに外国人が多くなったので、市の方でも 119 番 110 番のかけ方を多言語で用意した方が良いのでは。
- 自治会で火災の意識を持って行くのが大切で、事例をうまく伝えていく事が大事です。

2.市から

- 農業を行う上でやもうえず野焼きを行うのは、法律の規制対象とされていない。但し自粛をお願い。よって農家さんの野焼きは、行っても罰則は無し。
- 家庭菜園は、農業で無いので規制対象となる、
- 火災があった時の、連絡先など記載の便利資料は我孫子市にある。
社会福祉課の社会福祉係りに問合せを。

3.〇〇さんより（元東京消防庁職員）

- 火災で亡くなる方は、深夜帯から明け方に多い。
- 焼死されている方は、出入り口付近で倒れている事が多い。
- 煙の速度は、横方向は 0.5～1m/秒、縦方向は 4～5m/秒、
- 住宅感知器は煙感知器の方が良い。
- 阪神淡路震災の被害調査で分かった事は、新築（耐震装置の住宅）は、残っている。
- 火災が起ころなかつたら、6400 人が無くならなかつた。（火災で救助できなかった）
- 能登半島地震では、寒い時の呼吸器疾患で亡くなった方が多い（急性肺炎）
- 火鉢型の石油ストーブが、暖房や調理などで役に立つ。（備蓄品として）

■まとめ・閉会挨拶

<事務局長>

地域会議は 4 か月に 1 度の開催だが、堅くなりすぎず、対話を大切にしてきた
災害対策は引き続き重要なテーマ
今後も楽しく、実のある会議を続けていきたい

■次回開催予定：令和 8 年 6 月 21 日（日）10:00～12:00